

今春高校を卒業した人たち（震災時に多くは小学2年生）からのメッセージ

◎SM 君（宮城県、父をなくす。宮城県の大学に進学）

大学進学することができました。将来の夢を叶えるために、大学でも勉学に精進していきます。一人暮らしも始まるので、より一層気が引糸締まる思っています。これまでの生活では、多くの人達と接することで自分では気付かない所から学ぶこともありとても充実しました。これからも多くの人と出会い、多くを学んでいきたいです。

◎SH さん（宮城県、父をなくす。東京の大学に進学）

私は、高校でアメリカへ留学という夢を叶えることができました。
みなさまの支援のおかげで自分の夢に向かって勉強に励みることが
できました。そして高校生活の中で新しい夢と目標を見つけました。
大学では専門的に学びたいと思っています。
大学では、まちづくりや被災地の子ども達の心の復興について学びたいと
思っています。たくさんの方から支援を受けたおかげで、次は支援する側に
なりたいと思っています。
最後にたくさんの方の支援本当にありがとうございました。

◎HS さん (宮城県、父をなくす。宮城県の大学に進学)

私は、仙台商業高校に進学し、3年間過ごしてきました。
男子バレーボール部のマネージャーとして、毎日努力してきました。
今年の7月に春高でベスト8になり、3年間のマネージャー生活に幕を
下ろしました。
辛いことも苦しいことも乗り越え、それら全部を含めて素晴らしい高校
生活だったと思います。

◎TM さん (宮城県、父をなくす。宮城県の短期大学に進学)

3月に無事高校を卒業することができました。高校生活は中学の
時よりも濃い年間でした。高校最後の1年間は新型コロナウイルスの影響で
6月から学校が始まり、部活動は練習時間の短縮、試合を辞退する事になり、学校行事も
規模を縮小して開催となり物足りない1年となりました。気持ち切り替え進路に向けて
自分が頑張った事は総合型選抜に向けての準備でした。初めて挑戦となる。
面接のためにどんな質問がきても大丈夫となる様、色々なパターンの質問を
考えた先生のアドバイスと応援に支えられ、仙台青葉学院短期大学に合格
することができました。4月からは、新しい環境での勉強が始まります。
私は、理学療法士を目指し、勉強に励み、資格合格を目指し、
地域医療に貢献できる、理学療法士になれるようがんばります。
このような、周りの友達と変わらない生活を、進路を考える事ができたこと、ご支援、温かい応援を

いただいた皆様のおかげです。お手紙だけで感謝では伝えきれませんが
皆様にご支援いただいたご恩をお返しできるようがんばります。

10年間ありがとうございました。

◎KH 君（宮城県、両親をなくす。埼玉県の大学に進学）

私はいま東京電機大学理工学部理工学科の情報システムデザイン学系に所属して、情報系のプログラミングなどを勉強しています。プログラミング言語のC言語とPythonというものを授業で扱っているのですが、進行スピードが早くて、課題を終わらせるのが大変です。

それに加えて、コンピュータクラブでUnityというゲームをつくるために必要なツールを使い方も覚えているとこです。

また、コンピュータクラブではイラストを描く班にも参加しており、

パソコン上で絵を描くことにも挑戦している中で毎日忙しいです。

将来の夢はまだはっきりとはしてませんが、大学で学ぶパソコンの知識を使いながら職に就きたいなあと考えています。

◎KK 君（福島県、父親をなくす。宮城県の専門学校に進学）

3年間仙台の学校に通えて良かったです。

最後の1年はコロナでオンラインでしたけど自分のやった「事が

みっかり元気で頑張っただけよと思えます。